

政策シート

(政策名) 産業と市民活動による担い手の確保

(予算費目名) 農業政策推進費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

都市と農山漁村との交流促進を図るとともに、農林水産業を活用した観光振興や農林水産業への理解促進を図る。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	806	1,278	9,466
決算	763	1,262	
人件費(A)	5,250	6,400	6,400
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	6,013	7,662	15,866

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
グリーンツーリズム交流人口	人	3,180,000	目標	2,910,000	2,940,000	2970000
			実績	3,046,333	H29.9頃	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

都市と農山漁村との交流促進を図るとともに、農林水産業を活用した観光振興や農林水産業への理解促進を図る。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

都市と農山漁村との交流促進事業を年間にわたり実施することで、来訪者に農林水産業の理解が図られた。農山漁村を訪れる者と受け入れ側との交流が重要であり、継続により農林水産業への理解促進が図られる。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	次代につなぐ農業推進事業	○	○			15,866	9,466	0.4	1.0		
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						15,866	9,466	0.4	1.0		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 次代につなぐ農業推進事業

◇事業目的・事業対象

国の新設制度である「食と農の景勝地」への申請を契機に、浜松・浜名湖うなぎに代表される食文化を基軸として、食と産業観光、音楽・伝統文化を組み合わせることで、国内はもとより海外からの観光客を誘致し、一次産品の付加価値の向上や販路拡大を支援する。

◇事業の概要

- 1 グリーンツーリズム推進事業
静岡県グリーンツーリズム協会に対する負担金
- 2 食と農の景勝地事業
 - (1) 地理的表示(GI)取得に向けた研究
先進事例研究、取得産品候補の検討等
 - (2) 訪日外国人対応型の農林漁業体験メニューの開発支援
農林漁業体験メニューに関心のある事業者に向けた、勉強会の開催やプログラムの開発支援等
 - (3) 「浜松・浜名湖地域 食×農プロジェクト推進協議会」への負担金
体験プログラムやうなぎ等の食文化の紹介ツールの作成
- 3 「浜松・浜名湖地域 食×農楽会」開催
料理人により、本市の食を発信し、ブランド力の強化を図る

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	—	一般会計	自治事務(その他)		○	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	806	1,278	9,466
	決算	763	1,262	
	国・県支出	259		2,176
	市債			
	その他			
	一般財源	504	1,262	7,290
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		5,250	6,400	6,400
人工	正規	0.8	0.4	0.4
	再任用(h31)		1.0	1.0
	再任用(h26)			
	非常勤			

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
グリーンツーリズム交流人口(人)				I-1(1)ウ		
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	2,910,000	2,940,000	2,970,000		3,030,000	
実績値	3,046,333	H29.9頃				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

<p>1 グリーンツーリズム推進事業</p> <p>(1) 静岡県グリーンツーリズム協会に対する負担金</p> <p>(2) 浜松市グリーンツーリズム交流会に対する負担金 農村都市交流を図る事業の実施、情報発信、活動の助成等</p> <p>2 地産地消推進事業</p> <p>(1) 地産地消を推進するための情報発信 市ホームページを活用した農林水産物の紹介、市内の直売所の紹介</p> <p>(2) 地産地消優良活動表彰や地産地消給食等メニューコンテストの応募の推奨</p>
--

・事業の成果と課題

<p>指標の達成度</p> <p><input type="text" value="計画通り"/></p> <p>グリーン・ツーリズム推進事業</p> <p>ふるさと里山たいけん帖を前期と後期の年2回発行し、1,000人を超える交流人口数を得る。 外国人を受け入れる意向のある農林漁業の体験プログラム事業者の受入れ体制の基礎整備の支援及びモニターツアーの実施</p> <p>地産地消推進事業</p> <p>国の地産地消優良活動表彰への地域活動者の推薦</p>
--

・事業の見直し

<p>実施結果</p> <p>大項目 <input type="text" value="現状"/> 小項目 <input type="text" value="協働・助成"/> / <input type="text"/> 事業費 <input type="text" value="現状"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p> <p>「浜松市グリーンツーリズム交流会」を基盤として、民間事業者の活動を支援するとともに地域人材の育成を図った。</p>
<p>今後の方向性</p> <p>大項目 <input type="text" value="改善"/> 小項目 <input type="text" value="協働・助成"/> / <input type="text" value="統合・再構築"/> 事業費 <input type="text" value="拡大"/> 人工 <input type="text" value="現状"/></p> <p>来訪する交流者との農山漁村の生活・文化体験等の余暇活動を充実させるために官民協働による展開が望ましい。 「浜松市グリーンツーリズム交流会」を「浜松・浜名湖地域 食×農プロジェクト推進協議会」に再編し、観光等との連携を図る。</p>

政策シート

(政策名) 産業と市民活動による担い手の確保
(予算費目名) 農業振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- ・ 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - ・ 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - ・ 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 作業から経営に！変革を遂げる農林水産業

◇政策の概要

市民が気軽に農作業体験ができる場を提供するとともに、耕作放棄地の解消を図るため市民農園の整備を推進する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29
予算	2,674	1,764	1,756
決算	1,380	1,555	
人件費(A)	3,800	3,540	6,000
報酬(B)			
年間経費(予算又は決算+A+B)	5,180	5,095	7,756

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28	H29
市民ふれあい農園数(体験農園を除く)	か所	70	目標	52	54	54
			実績	52	52	
利用率(区画数ベース、休園・体験農園除く、単位%)	%	86.0	目標	81.5	82.0	82.5
			実績	81.8	76.6	
			目標			
			実績			

◇平成28年度の政策評価(政策の概要)

市民が気軽に農作業体験ができる場を提供するとともに、耕作放棄地の解消を図るため市民農園の整備を推進する。

◇平成28年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 遅れている

所有する遊休農地を市民農園として活用したいという相談件数は多いが、開設までに至らないケースが多い。市民農園に対する市民のニーズは高いため、それに対応できる市民農園の開設候補地の掘り起こしが課題である。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	市民に親しまれる農業推進事業	○	○			7,756	1,756	0.6	0.5			
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						7,756	1,756	0.6	0.5			

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 市民に親しまれる農業推進事業

◇事業目的・事業対象

多様化する余暇対策として、憩いの場の提供及び農業に触れ合う場の提供をする。

◇事業の概要

①市民ふれあい農園支援事業

・市民ふれあい農園整備事業

農業振興地域内の遊休農地の有効活用、多様化する余暇活動への対策として、市民が農業に親しみ理解を深めるための憩いの場となる市民農園の整備を行う。

・いなさ金指農園の運営

市で整備した市民農園(いなさ金指農園)の管理・運営を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
昭和52年度	-	一般会計	自治事務	市民農園整備促進法 特定農地貸付法	○	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29
事業費(千円)	予算	2,674	1,764	1,756
	決算	1,380	1,555	
	国・県支出			
	市債			
	その他	154	149	160
	一般財源	1,227	1,406	1,596
	一般会計繰入金			
人件費(報酬等) (千円)				
人件費 (千円)		3,800	3,540	6,000
人工	正規	0.4	0.3	0.6
	再任用(h31)	0.2	0.4	0.5
	再任用(h26)			
	非常勤	0.1		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
市民ふれあい農園数(体験農園を除く、単位:か所)				I-1(4)イ		-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	52	54	53		60	70
実績値	52	52				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
利用率(区画数ベース、休園・体験農園除く、単位:%)				-		-
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値	81.5	82.0	83			86.0
実績値	82	77				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系		重点戦略項目No
年度	H27	H28	H29	H30	H31	H36
目標値						
実績値						

◇平成28年度の事業評価

・平成28年度の事業の概要

①市民ふれあい農園支援事業

・市民ふれあい農園整備事業

農業振興地域内の遊休農地の有効活用、多様化する余暇活動への対策として、市民が農業に親しみ理解を深めるための憩いの場となる市民農園の整備を行う。

・いなさ金指農園の運営

市で整備した市民農園(いなさ金指農園)の管理・運営を行う。

・事業の成果と課題

指標の達成度

遅れている

H28年度において、市民農園の開設に向けた相談案件は7件あり、そのうち3件が開設準備を開始したが1件は途中で開設を断念し、新規開設に至ったのは2件となった。一方、既存の市民農園が2件廃止されたため、結果として全体の市民農園数は52件のままとなった。

広報はままつによる市民農園開設者募集のお知らせの効果が高く、年間数件の問合せがあるが、周辺の既存市民農園の空き区画状況等から総合的に判断すると市民農園としての活用に適した農地の確保が難しいのが現状である。また、相続などによる園主変更に伴い、既存の市民農園の運営・管理についての相談が増えている。

農園の平均利用率については、新規利用者の募集を中止した廃止予定の農園及び住宅地から比較的離れた農園における空き区画の増加の影響により、前年度と比べ低下した。

・事業の見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 情報発信 / - 事業費 現状 人工 現状

今後の方向性

大項目 改善 小項目 情報発信 / 非常勤・再任用 事業費 拡大 人工 拡大

市民農園の利用率を上げるため、園主への運営指導・助言を行う。新規の市民農園開設については、引き続き広報活動を強化し、市民農園候補地の確保に繋げる。既存の市民農園の相談が増えており、きめ細やかな対応をするためには、人工を増やすことが必要となる。